

国立大学法人北海道国立大学機構 理事長選考基準

令和 5 年 3 月 2 3 日
国立大学法人北海道国立大学機構
理事長選考・監察会議

(求められる人物像)

国立大学法人北海道国立大学機構(以下「機構」という。)の理事長は、機構のミッション・ビジョンを実現するために、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、機構における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、その求められる人物像は以下のとおりである。

- 1 学界、経済・産業界等の組織におけるマネジメント実績を有し、設置大学の商農工連携による新たな教育研究の価値を見極める先見性と優れたリーダーシップを備え、機構の財政基盤の強化及び大学の教育研究の推進に尽力できること。
- 2 優れたコミュニケーション能力を有し、設置大学の教育研究の自主性・自律性を重視するとともに、各大学総括理事との緊密な対話により機構全体の融和を推進することができること。
- 3 経済・産業界、官公庁、他の教育研究機関等との連携を強化するための高い行動力と決断力を有し、地域産業活性化、地域を支える人材育成等に関する具体的な強化策を示して役員及び教職員を先導できること。
- 4 強い発信力とグローバルな視野により、機構及び設置大学の存在感・価値を社会に示し、国内外から厚い期待・信頼を得ることができること。

(理事長となることのできる者から除外する者)

次に掲げる者を、理事長となることのできる者から除外する。

- 1 国立大学法人北海道国立大学機構組織運営通則(令和4年4月1日機構通則第1号)第2条第2項に定める学外者ではない者
- 2 機構が設置する小樽商科大学、帯広畜産大学及び北見工業大学(令和4年3月31日まで設置されていた国立大学法人小樽商科大学、国立大学法帯広畜産大学及び国立大学法人北見工業大学を含む。)いずれかの大学総括理事若しくは学長、理事又は副学長の役職を経験したことがある者

北海道国立大学機構ミッション・ビジョン

【ミッション】

北海道経済・産業の発展と国際社会の繁栄並びに SDGs に示された持続可能な社会の実現に貢献するため、北海道内の実学を担う国立大学の教育研究機能を強化し、教育研究に対する国民の要請に応えるとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準向上を図る。

【ビジョン】

北海道国立大学機構は、商学・農学・工学を担う国立大学の結束と産学官金の強力な連携により、学びの探求と実践力の向上に意欲と情熱を持つ多様な学生・社会人が、国内外から北海道に数多く集う「実学の知の拠点」を形成し、ステークホルダーの期待に応えて社会の発展に貢献する。

①教育

グローバル化、Society5.0、SDGs 等の社会の変化に柔軟に適応し、社会の各分野でリーダーとして活躍できる人材を育成する。

②研究

持続可能な社会の実現に貢献する研究、イノベーション創出に向けた研究を重点的に推進する。

③社会連携

北海道を中心とする地域課題の解決に取り組むとともに、実践的・専門的なリカレント教育を推進し、地域創生を目指す。

④グローバル化

国や地域の枠を超えた様々な機関との連携・協働により、国際通用力を持つ人材育成と国際性豊かな都市環境創出に取り組む。

⑤業務運営

社会に開かれた経営体制により、変動する社会の要請に的確に対応できる法人運営と強固な財政基盤を構築する。